

2 船員職業安定業務の現況

(1) 船員の雇用情勢

平成28年の船員職業紹介実績は第3表、船員労働需給の状況は第2図のとおりである。

新規求人者数は、平成27年の372人から82人増加して454人となり、新規求職者数は平成27年の202人から3人減少して199人となった。

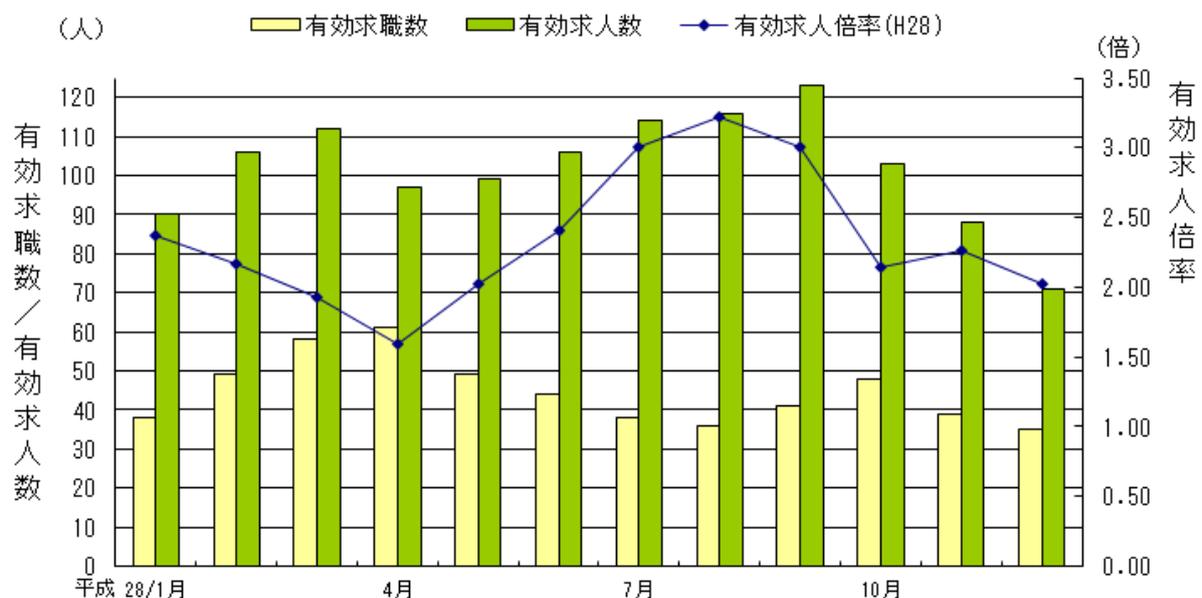
また、有効求人倍率は船員不足を反映し、月間平均倍率は2.34倍と前年の1.83倍を0.51ポイント上回っている。

なお、新規求職者数の年齢構成は第3図のとおりであり、50歳代以上の中高年齢層が約38.7%（前年42.6%）を占める一方で、30歳代までの若年層は20.6%（前年32.2%）となっており、前年に比して若年船員の占める比率が1割程度下がっている。

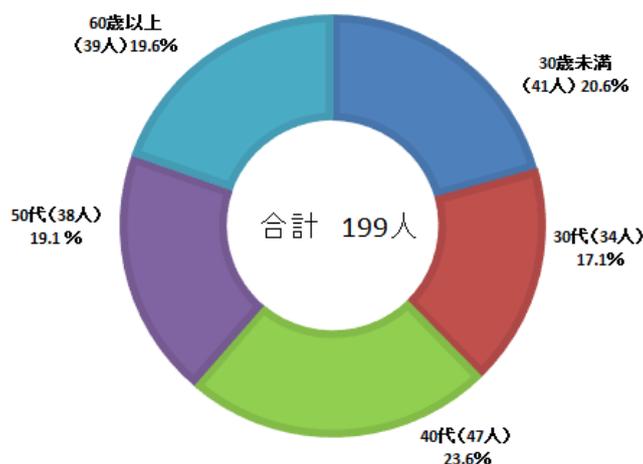
第3表 船員職業紹介実績（平成28年1月～12月）

	新規求人者数	新規求職者数	成立数	新規求人倍率	2.28倍
外航	8人	5人	0人	月間有効求人数（平均）	102人
内航	330人	139人	34人	月間有効求職数（平均）	44人
漁船	16人	7人	1人	月間有効求人倍率（平均）	2.34倍
その他	100人	48人	11人	充足率	5.7%
計	454人	199人	46人	就職率	8.6%

第2図 船員労働需給の状況（平成28年1月～12月）



第3図 新規求職者数の年齢構成（平成28年1月～12月）



(2) 雇用促進等対策

(ア) 求人開拓

管内の船員需給状況を把握するとともに、船員の雇用機会の拡大と事業者の船員確保を進めるために、次のとおり実施した。

訪問事業者数	9社
求人票提出事業者数	5社
就職成立数	1人

(イ) 就職促進対策

平成28年度の雇用保険受給資格者への再就職の促進に必要な公共職業訓練受講指示については、次のとおり実施した。

(一財) 関門海技協会	4級海技士(航海)	1人
(一財) 尾道海技学院	6級海技士(機関)	1人

(3) 雇用保険に係る失業等給付

平成28年度の雇用保険に係る失業等給付は、次のとおり実施した。

受給者数	83名(実人数)
支給件数	131件(延べ件数)
支給額	19,928,451円

(4) 船員派遣事業

船員派遣事業の許可事業者数は、近畿運輸局からの移管1社と平成28年8月に新たに1社が事業許可を受けたことから、合わせて10社（平成29年3月末現在）となっている。

(5) 学校等が行う無料の船員職業紹介事業について

(ア) 学校が行う船員職業紹介事業

学校が行う無料の船員職業紹介事業の届出事業者は、3校（平成29年3月末現在：(独)海技教育機構海技大学校、国立大学法人神戸大学、兵庫県立香住高等学校）となっている。

(イ) 団体が行う船員職業紹介事業

無料の船員職業紹介事業の許可は、2団体（浜坂漁業協同組合、但馬漁業協同組合）が許可を受けている。